

第5回（平成22年）
「大和郡山・金魚検定」

解 説

<分 野… 大和郡山>

<難易度… 初 級>



大和郡山・金魚検定認定委員会

問題1

【正 答】 ③ 植槻八幡神社

【解 説】

奈良県ではおんだ（お田植祭）を行う所が1月から6月にかけて60数か所ある。神社の境内に区画を設けて稲田とみなし氏子の1～2人が牛役になり、スキやマンガワなどで耕し、翁役が松の小枝などを稲の苗に見立てて田植えのしぐさを行う。古くから神社で行う祈年祭がその年の豊作を祈る祭であることから、いつの頃からか、おんだも神前で祈年祭に合わせて行うようになったが、もともとは農民たちだけで田の畦で行った。神が田の精霊に対して「このように豊かに稔らせよ」と実際にそのしぐさをして見せつける農耕儀礼であった。

1月	に行われるのは次のとおりである。	
7日	植槻八幡神社	大和郡山市植槻町
9日	諸楯神社	葛城市弁之庄
11日	八幡神社	奈良市押熊町
	八坂神社	大和郡山市矢田町
18日	水分神社	宇陀市大宇陀区平尾
28日	八幡神社	橿原市東坊城町

【文 献】

- 『大和の民俗』（大和タイムス社）
- 『祭礼事典』（桜楓社）
- 『大和の祭り』（向陽書房）
- 『大和の御田植祭』（向陽書房）
- 「大和の御田植祭」
- （長田光男調査資料）



植槻八幡神社の「おんだ」

問題2

【正 答】 ④ 元服式

【解 説】

昔、池之内のある農家に6年間の年季奉公に来た男の子が3年を勤めただけで死んだ。ところが、その後、黒い牛がやってきて、男の子の残したあと3年間を実によく働いて勤め上げ、その牛も死んでしまった。あわれに思ったその農家の主人が手厚く葬ってやった場所が「牛の宮」で、石碑が建つ。

そこへ16歳になる男の子がお参りし、一人前の大人として出発する習わしになっている。つまり昔から行われてきた元服式の一つである。

【文献】

- 『郡山の祭りと行事』
(奈良県立民俗博物館)
- 『池之内町』
(「奈良歴史案内」所収)
- 『牛の宮伝説』
(大和郡山市広報誌
「つながり」所収)
- 『大和の野神行事(下)』
(奈良県教育委員会)



池ノ内町の「牛の宮」
(16歳になる男の子がお参りしている)

問題3

【正答】 ② 六道山古墳

【解説】

六道山古墳は小泉町に所在する全長約100mの前方後円墳で、1970年代に前方部が削平されたものの後円部のみが現在も残存している。市内でも屈指の規模をほこる古墳だが、調査例がほとんど無いため内容は意外と知られていない。小泉狐塚古墳と小泉東狐塚古墳はどちらも宅地化などによって発掘調査後に姿を消した。小泉の一带では、他にも墳丘が早くに削平された古墳が発掘調査でみつけることが多く、現在知られている以上に多くの古墳が築造された地域と思われる。南方古墳は西町に所在していた古墳で、古くに墳丘が失われ、周溝のみが地下に残っていた。調査後消滅。

【文献】

『第4回こおりやま歴史フォーラム 矢田丘陵周辺の古墳文化—郡山・斑鳩・平群の古墳を考える—』大和郡山市教育委員会 1998

問題4

【正答】 ① 門の大部分は現在の佐保川の川床下に位置している。

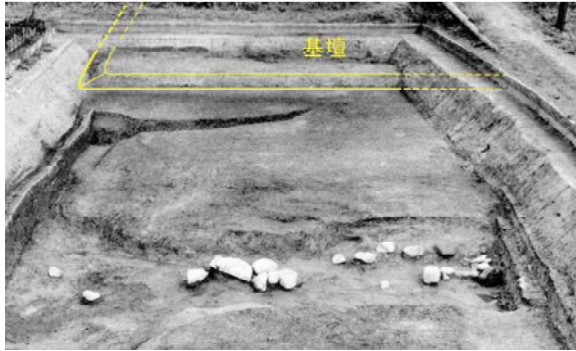
【解説】

羅城門があった場所は現在佐保川の川床下となっている。周辺には基壇の痕跡などのような往時の姿を想像させる痕跡はまったく残っていない。昭和10年に工事の際に礎石と思われる石材が出土したとされるが詳細は不明。昭和47年の発掘調査によって門の基壇隅が確認されている。門本体の構造については諸説あるが、2010年現在は復元する上で直接的な資料がほとんどない。瓦が出土することから屋根は瓦葺きであったことがわかる。

ちなみに、羅城門跡の上に架かる高架に立つと、晴れた見晴らしの良い日には復元された平城宮の朱雀門や東大寺大仏殿などをみることができる。

【文献】

『平城京羅城門跡発掘調査報告』大和郡山市教育委員会 1972年



らじようもん ちようさ しやしんおく もんきだん
羅城門の調査 (写真奥が門基壇)



らじようもんあと げんきよう
羅城門跡の現況

問題5

【正答】 ① 満願寺

【解説】

満願寺町に西岳院がある。寺伝によれば、聖徳太子が富雄川左岸の字古屋敷に満願寺を建立したが、洪水により流され、以後衰微し一字のみ残る程度となった。寛政2年(1790)小泉藩主片桐貞章の招きで黄檗山14代龍玩が当寺に隠棲して、水難の恐れのない富雄川右岸の丘の上に堂宇を再建して寺号を西岳院と改めた。

【文献】

『ふるさと大和郡山歴史事典』大和郡山市 1987

問題6

【正答】 ② 鉄砲の玉

【解説】

筒井城の堀は現在も地割として痕跡が残っている部分が多い。発掘調査の成果をあわせると、幅は広い部分で約1.5m、深さは深い部分で約3mと推定されている。出題にある球体は鉄砲玉であり、堀のいくつかの地点から出土している。当時の城をめぐる状況や戦略などを考える上でも貴重な資料である。大きさは直径10.5～13mm。重さ7g前後。なお、筒井城を巡っては筒井順慶と松永久秀による攻防が文献などから知られている。

【文献】

『筒井城第5次発掘調査報告書』大和郡山市教育委員会 2004

『筒井城第8次・第9次発掘調査報告書』大和郡山市教育委員会 2009

問題7

【正 答】 ② 豊臣秀長

【解 説】

豊臣秀長は豊臣秀吉の弟で、豊臣政権でも重きを担っていた人物。天正13年に郡山城に入り、天正19年に病死するまで郡山城の整備や城下の繁栄につとめた。秀保は秀長の養子となり、家督をついだ郡山城主である。秀俊は秀吉の正妻の兄の5男。

【文 献】

『大和郡山市史』大和郡山市役所 1966

『ふるさと大和郡山歴史事典』大和郡山市 1987

問題8

【正 答】 ③ 歌ヶ崎廟

【解 説】

市指定文化財。大きな亀を台として石碑がたてられる。碑文は大学頭である林信篤の撰で、格式高い漢文で墓主の経歴が詳しく記されている。近世における大名の墓としては模範的な例とされる。大納言塚は箕山町に所在する豊臣秀長の墓所で、こちら市指定文化財。親子塚は小泉町に所在する塚で、慶長年間の武士の親子にまつわる伝説がある。

【文 献】

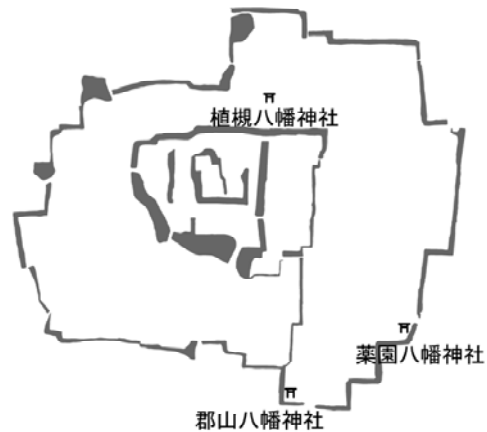
『ふるさと大和郡山歴史事典』大和郡山市 1987

問題9

【正 答】 ① 売太神社

【解 説】

売太神社は稗田町に所在し、『古事記』に関わりのある稗田阿礼を祭神とする。郡山八幡神社（柳4丁目）、植槻八幡神社（植槻町）、薬園八幡神社（材木町）は、郡山城の外堀内に位置する。



問題10

【正 答】 ③ 診療

【解 説】

旧城下町の中で特に目を引く洋風建築である。診療棟と居住棟とに別れ、現在も小児科を開業している。診療棟は大正時代の建築で急傾斜の切妻屋根、筋違、線形、ドーマー窓風飾り屋根、棟飾りなどヨーロッパのハーフチンバー様式を踏襲したもの。居住棟は昭和初期の建築で内部の階段の手すり柱にアールドコ風の装飾が施されている。

問題 1 1

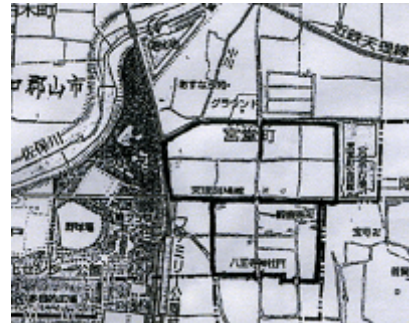
【正 答】 ④ 宮堂

【解 説】

奈良盆地では、水不足に対しては溜池を設けて利水をはかり、洪水には治水施設を築いて水害の軽減をはかってきた。川沿いの村々では請堤や遊水地などの治水施設を数多く見ることができる。請堤には直線型・鉤型・包囲型などがある。宮堂は村全体が堤防で囲まれる包囲型請堤で、全国的にも希有のものと言える。

【文 献】

- 『奈良盆地の水土史』宮本誠（農文協）
- 『城と川のある町—大和郡山歴史散歩』鈴木良（文理閣）
- 「奈良盆地の治水・利水史」（長田光男作成資料）
- 「奈良盆地における請堤の機能と分布」梅崎秀（「地理学論」1985年所収）



みやどう ほういがたうけづつみ ふとせん うげづつみ
宮堂の包囲型請堤（太線が請堤）

問題 1 2

【正 答】 ③ 八条町

【解 説】

大和郡山市八条町に伝わる昔話である。失恋した乙女の妄念が大蛇と化し、村や花嫁に危害を加えるが、神々の力や村人、それに恩を受けた堂山に棲む狐などが協力して大蛇を退治する。



現在の「嫁取り橋」

【文 献】

- 『龍野世龍伝』（サンデー郡山社）
- 『郷土の伝説』駒井保夫著
- 『大和郡山八条の昔ばなし』（NPO法人 古道・下ツ道・保存・研究会 理事長 森康雄）

問題 1 3

【正 答】 ② 郡山南小学校

【解 説】

今年6月1日付け奈良新聞、読売新聞で報道。同校は校区に養殖池が多く身近な存在の金魚に親しみ、夏の全国金魚すくい選手権大会を盛り上げることが目的。市観光協会など地域の支援もあり実現した。4～6年生児童20人が所属し年10回程度活動。同校卒業生で「金魚すくい名人」の田村和勇さんが指導する。

問題 1 4

【正 答】 ④ 千葉ロッテマリーンズ

【解 説】

奈良県明日香村出身。郡山高専から、関西学院大学、トヨタ自動車を経て
 昨年さくねんのドラフト1位いで入団にゆうだん。ロッテ球団きゆうだんでは25年ねんぶりとなる新人外野手しんじんがいやしゆの
 開幕先発出場かいまくせんぱつしゆつじゆうを果たしたは。

問題 1 5

【正 答】 ① 約60種類 ・ 1万株

【解 説】

「矢田のお地蔵さん」として親しまれ地蔵信仰じざうしんこうの信者の多い矢田寺しんじやは、梅雨おお時期やたはあじさい寺やたとしての人気が高いつゆ。昭和40年頃しやうわ、当時の前川空識住職ねんごうにより植えられたのがはじまりであるとうじ。現在境内まえかわくうしきじゆうしよくに植えられたアジサイは、約
 1万株かぶ、60種類しゆるい。緑みどり、白しろ、青あお、赤あか、紫あかむらさきと様々な色さまざまで咲くアジサイいろが美しいうつく。
 アジサイは日本の暖地に自生する日本固有の花木であるがいく。外国のアジサイは江戸時代えに長崎の出島ながさきのオランダ商館でじまの医師しやうかん・シーボルトいしが、ヨーロッパへ
 送ったものでおく、外国には野生種がいくのアジサイやせいしゆはないといわれている。
 矢田寺大門坊やたのホームページやたに詳細だいもんぼうが記載しやうさいされているきさい。

問題 1 6

【正 答】 ① 約7千万匹

【解 説】

大和郡山と金魚の縁は、江戸時代に柳澤家が転封してきた際に甲府から持っ
 てきたことによるとされる。金魚はかつては大変な高級魚で、貴族や豪商の
 愛玩物として珍重されたが、明治以後は庶民の間でも飼うことが流行するよ
 うになった。大和郡山地域は、水質、水利に恵まれた農業用溜池が数多くあり、
 溜池に発生する浮遊生物ためいけ（ミジンコ類）が金魚の稚魚の餌はつせいに適していたことな
 ど、金魚養殖きんぎよに有利な条件ちぎよが備わっていたえさ。

【文 献】

『金魚のふるさと 大和郡山市』大和郡山市農業水産課

問題17

【正 答】 ① 昭和工業団地 いまごうちょう

【解 説】

昭和43年8月に46社が進出してスタートし、来年、40周年を迎える奈良県最大（製品出荷額等は奈良県全体の60%を占有、工業団地面積108万5千㎡）の工業団地であり、京奈和自動車道や西名阪自動車道に近く、国道24号、国道25号、大和中央道に囲まれ、物流面での好立地条件にも恵まれた工業団地である。

問題18

【正 答】 ③ 治道トマト 太陽のジュレ

【解 説】

栽培地域の名前をとって『治道トマト』としてPRをすすめている。農商工連携の新たな土産物として『治道トマト』のジュースを使って製造された「太陽のジュレ」や『治道トマト』を使った金魚形のゼリーが浮かぶ「夏色こおりやま」があり、8月よりイオンモール大和郡山内の元気城下町プラザなどで販売されている。

問題19

【正 答】 ④ 横田町

【解 説】

それぞれ市内横田町で交差して東西に走る国道は25号線、南北に走る国道は24号線である。この交差点の近くには西名阪自動車道の郡山インターチェンジや京奈和自動車道もあって交通の要衝といえる。このような好立地条件をいかに物流関連企業が多く進出している。

問題20

【正 答】 ③ 平和のシンボル、金魚が泳ぐ城下町。

【解 説】

「緑とうるおいのある町」と「緑豊かな田園文化都市」は当市で過去に使われていたもの。「人がつどい心がかよう笑顔あふれるまち」は当市と姉妹都市である甲府市のものである。現在の指標である「平和のシンボル、金魚が泳ぐ城下町。」は平成14年4月1日に制定されたもので、町の顔である金魚と歴史と文化のある城下町の組み合わせは大和郡山ならではの特色である。